

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	03	02	04	0401	少年センター運営事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-3	生涯学習の推進			
	施策	2	青少年の社会教育			
目的	青少年の非行防止を図る。					
対象	青少年（小学生から20歳未満）					
意図	青少年を取り巻く環境の浄化を図り、健全な青少年を育む。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○少年補導委員による街頭補導活動						
市民参画の有無 [無]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	街頭補導活動数	回	計画	380	380	
			実績	308	319	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
目的妥当性	公共関与の妥当性	少年の非行防止及び健全な育成に関し、市が主体となり関係機関と協働を図り効果的な活動を推進する。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	警察、防犯協会、スクールガード等地域ボランティア等が連携することで更に成果向上が見込まれる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない <input type="checkbox"/>	
効率性	事業費・人件費の削減余地	巡回計画や集計報告等最低限の事務を職員が行っている。最小経費のため、削減できない。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	全市民を対象としているため公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
計画に従った活動回数を確保できるよう各種団体と連携を取りながら進める必要がある。また、非行防止啓発活動に積極的に取り組む必要がある。		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 市民生活部 課名 市民生活総合相談 担当係長 似内庄治 内線 254
(単位：千円)

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	03	02	04	0401	少年センター運営事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		941	993		52
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	941	993		52

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標
生涯学習の推進に努めます。

事業開始の背景・経緯
犯罪や非行のない明るく安全で住みよい地域社会を実現するため、市民の防犯意識を高める。

事業概要
○少年補導委員による街頭補導活動

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
・花巻警察署、花巻市防犯協会、地域ボランティア団体等との連携した活動を行う。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

◆少年センター運営事業 993千円 (前年度比+52千円)

少年補導委員による街頭補導活動 993千円 (前年度比+52千円)

少年補導委員 74人 (うち教員23人、地域推薦等48人) (ほかに市職員3人)

(地区別：花55人、大4人、石10人、東5人)

報償費922千円、需用費19千円、役務費12千円、負担金8千円、職員手当32千円

(報償費内訳：少年補導委員謝礼 1,200円×768人(延べ) = 922千円)

